

2018年9月12日

報道関係各位

JR九州コンサルタンツ(株)

吉野ヶ里歴史公園特別企画展のお知らせ

JR九州コンサルタンツ(株)が、管理委託業務に参加する国営吉野ヶ里歴史公園で、この秋開催する特別企画展「よみがえる邪馬台国」をお知らせいたします。10回目となる今回は弥生時代の遺跡が数多く所在し、邪馬台国【九州説】の有力な候補地とされる福岡県の筑後地域を中心とした企画展示となっておりますので、ぜひご来場ください。

1. イベント名 **特別企画展「よみがえる邪馬台国」**
～倭人伝の道VI 邪馬台国と王都 筑後～
2. 開催期間 **2018年9月22日(土)～11月11日(日)**
3. 開催時間 **9:00～17:00**
4. 開催場所 **吉野ヶ里歴史公園 弥生くらし館・佐賀県吉野ヶ里遺跡展示室**
5. 料 金 **観覧無料(但し入園料は別途必要です)**
〔大人 460円・小人(中学生以下) 無料・シルバー(65歳以上) 200円〕
6. イベント内容
 - ・「魏志倭人伝」の記述から、そのルートを辿るシリーズ「倭人伝の道」。6回目となる今年は、中国鏡や多彩な鉄製品と装身具が発掘された良積遺跡をはじめ、数多くの弥生時代の遺跡が所在し、邪馬台国【九州説】の有力な候補地とされる筑後地域を取り上げ、地域を代表する遺跡の特色や出土資料からその実態や吉野ヶ里遺跡との関係について検証します。
10月7日(日)には特別記念フォーラムを開催し、邪馬台国九州説と近畿説の双方による基調講演、討論会を行います。
 - ・10月7日(日)、27日(土)は無料入園日となっており、駐車料も無料です。(東口大型車駐車場を除く)
7. お問い合わせ **吉野ヶ里公園管理センター**
(〒842-0035 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町田手1843)
TEL: 0952-55-9333

【イベントリーフレット [表]】

吉野ヶ里歴史公園

特別企画展

YOSHINOGARI HISTORICAL PARK
SPECIAL
EXHIBITION

● 一支国

● 末盧国

邪馬台国って
● 奴国
吉野ヶ里じゃなくて
● 伊都国
筑後にあったの？
● 筑後

よみがえる

Y O M I G A E R U Y A M A T A I K O K U

邪馬台国



邪馬台国と筑紫の王都「筑後」

開催場所：弥生くらし館、佐賀県吉野ヶ里遺跡展示室

[主催] 吉野ヶ里歴史公園マネジメント共同企業体 吉野ヶ里公園管理センター
佐賀県立博物館

[監修] 佐賀女子短期大学名誉教授 高島忠平 [協賛] 株式会社千鳥屋本家

■後援：国土交通省九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所、九州国立博物館、佐賀県、神埼市、吉野ヶ里町、佐賀市教育委員会、福岡県教育委員会、長崎大学大学院医学総合研究科、九州旅客鉄道株式会社、全日本空輸株式会社、昭和自動車株式会社、NEXCO西日本九州支店、佐賀新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、西日本新聞社、サガテレビ、NHK佐賀放送局、ぶんぶんテレビ、NBCラジオ佐賀、エフエム佐賀

■協力：九州国立博物館、福岡県教育委員会、九州歴史資料館、久留米市文化観光部文化財保護課、久留米市埋蔵文化財センター、八女市新社会推進部文化振興課、岩戸山歴史文化交流館、広川町教育委員会、広川町古墳公園資料館、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所、奈良県立橿原考古学研究所、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館、桜井市教育委員会、桜井市埋蔵文化財センター、天理市教育委員会、天理市埋蔵文化財センター、黒塚古墳展示館、御所市教育委員会、佐賀県教育委員会、神埼市教育委員会

観覧無料 但し入園料・駐車場は有料

2018 9/22(土) > 11/11(日)



弥生人の声が聞こえる

吉野ヶ里歴史公園

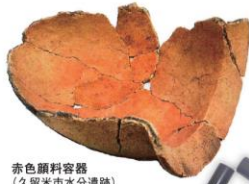
YOSHINOGARI HISTORICAL PARK

【イベントリーフレット [裏]】

吉野ヶ里歴史公園
特別企画展
YOSHINOGARİ HISTORICAL PARK
SPECIAL
EXHIBITION



黒色磨研土器 (久留米市久保遺跡)



赤色顔料容器 (久留米市水分遺跡)



方格矩鳥文鏡 (久留米市長積遺跡)

ヒスイ勾玉・碧玉管玉 (久留米市長積遺跡)

邪馬台国と筑紫の王都「筑後」



ガラス製連玉 (久留米市高三瀧遺跡)



方格矩鏡 (八女市茶ノ木遺跡)



鉄戈・鉄ヤリガンナ (八女市茶ノ木遺跡)



銅鏡片・装身具 (広川町岩坪石棺)



鉛矛 (八女市野田遺跡)



銅鏡鏤型 (久留米市寺徳遺跡)



銘帯四獣鏡片 (久留米市祇園山古墳)

吉野ヶ里とその周辺



北墳丘墓出土銅剣 (吉野ヶ里遺跡)



銅矛鏤型・銅剣鏤型 (神埼市姉遺跡)

巴形銅器鏤型と復元品 (吉野ヶ里遺跡)



青銅鏤先 (吉野ヶ里町可戦ヶ谷遺跡)

銅戈鏤型・魚形青銅器鏤型 (大久保遺跡・平原遺跡・楯比木村遺跡・前田遺跡)



装束禪文銅鐃 (桜井市大福遺跡)



面文帯神獸鏡 (桜井市ホケノ山古墳)



絵画土器 (橘原市四分遺跡)



弧文円板 (桜井市纏向石塚古墳)



三角縁神獸鏡 (御所市鴨都波1号墳)

奈良

共生人の声が聞こえる
吉野ヶ里歴史公園

— 倭人伝の道 VI —

よみがえる
YOMIGAERU YAMATAIKOKU
邪馬台国

2018 9月22日(土)~11月11日(日)

特別企画展「よみがえる邪馬台国」第10回として、「邪馬台国と筑紫の王都 筑後」を開催いたします。筑後地域は、多数の甕棺墓や鮮やかに丹塗りされた祭祀土器群が出土した国史跡の安国寺遺跡(久留米市)をはじめ、中国鏡や多彩な鉄製品と装身具が発掘された良積遺跡(同市)、茶ノ木遺跡(八女市)、近年の発掘調査で小銅鐃や国内での出土例がきわめて少ないガラス製連玉が発見された高三瀧遺跡(久留米市)、大規模な集落と長大な縦列埋葬墓群が確認された森園遺跡(広川町)など、数多くの弥生遺跡が所在し、邪馬台国【九州説】の有力候補地となっています。

今回の展示では、この筑後地域に焦点を当て、代表する弥生遺跡の特色や出土資料から、この地域に想定される「筑後の国」の実態や吉野ヶ里遺跡との関係について検証します。

併せて、弥生後期後半に突如出現し大規模な祭壇を中心とする独特の遺構や特殊な遺物が多数発見され邪馬台国【近畿説】の有力候補地となっている縦向遺跡(桜井市)、邪馬台国時代に築造され画文帯神獸鏡を副葬したホケノ山古墳(同市)、卑弥呼が魏の皇帝から下賜されたといわれる三角縁神獸鏡を副葬した黒塚古墳(天理市)、鴨都波遺跡(御所市)など奈良地域の代表的な遺跡群や出土資料を紹介しながら、改めて邪馬台国時代の吉野ヶ里遺跡の具体的な姿を探ります。

ご利用案内

○開園時間 9:00~17:00

○利用料金 団体は小学生以上の方20名以上

	一般	団体	年間/スポート
大人 (15歳以上)	460円	280円	4,600円
大人 (2日間通し券)	500円	340円	
シルバー (65歳以上)	200円	200円	2,000円
シルバー (2日間通し券)	240円	240円	
小人 (中学生以下)		無料	

○駐車料金

普通車:310円 大型車:1,030円 二輪車:100円

○交通のご案内

乗用車 長崎自動車道東脊振IC(約5分)→吉野ヶ里歴史公園

JR 鳥栖駅(約14分) ↓

佐賀駅(約12分) ↘ 吉野ヶ里公園(徒歩約15分) → 東口



■お問い合わせ・お申し込み 『吉野ヶ里公園管理センター』

TEL : 0952-55-9333 FAX : 0952-55-9330

〒842-0035 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町田手1843

http://www.yoshinogari.jp/ [吉野ヶ里歴史公園] 検索

※天候等によりイベントの内容が一部変更となる場合があります。

特別記念フォーラム [先着約300名]

よみがえる邪馬台国
「倭人伝の道 VI」

時間 13:00~16:40

場所 吉野ヶ里歴史公園センター

「多目的ルーム」

2018
10月7日
開催

基調講演 高島忠平先生 (佐賀女子短期大学 名誉教授)
橋本輝彦先生 (桜井市教育委員会文化財課 課長)
白木守先生 (久留米市文化観光部文化財保護課 課長補佐)

フォーラム コーディネーター 高島忠平先生
パネリスト バネリスト 橋本輝彦先生 白木守先生